

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	参議院議員通常選挙啓発推進事業			
予算科目	2 款 4 項 5 目			
総合計画での位置付け	行財政改革 行財政改革の推進			
所管課情報	担当課: 行政委員事務局		電話番号(内線): 0	
記入者情報	所属長: 森田 誠司		担当責任者: 高橋 雄二	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 25 年度 【開始年度】平成25年度			
事業の対象	20歳以上の有権者			
根拠法令等	公職選挙法			
事業の目的	参議院議員通常選挙の啓発			
事業の内容	参議院議員通常選挙への投票参加を呼び掛ける。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	0	133	122	122
	人件費	0	0	0	0
	合計	0	133	122	122
人件費 内訳	人工数	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費単価	0	8,135	0	0
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	133	87	87
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	35	35

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
不在者投票者数	人		150	121	121
期日前投票者数	人		5000	4138	4138
当日投票者数	人		15300	11994	11994

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	0	0	133	0	0	133

成果指標				
成果指標	投票率 = 投票者数 / 有権者数 (%)			
指標設定の考え方	選挙に参加した(投票した)人の割合を示す。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	0	65	0	0
実 績	0	51	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	懸垂幕、立看板の設置に加え、広報車の宣伝、街頭啓発、防災無線による広報、ホームページへの記事掲載を行ったが前回を下回る投票結果となった。今後は従来の方法にとらわれず、啓発を通じて投票率の向上を図りたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	自己評価にもあるように従来と変わらない啓発活動を行ったが、期待した投票結果には結びつかなかった。特に若年層の投票率は20~30パーセント台と低調であったため、今後は、重点的に若年層をターゲットにした選挙啓発なども検討したい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	